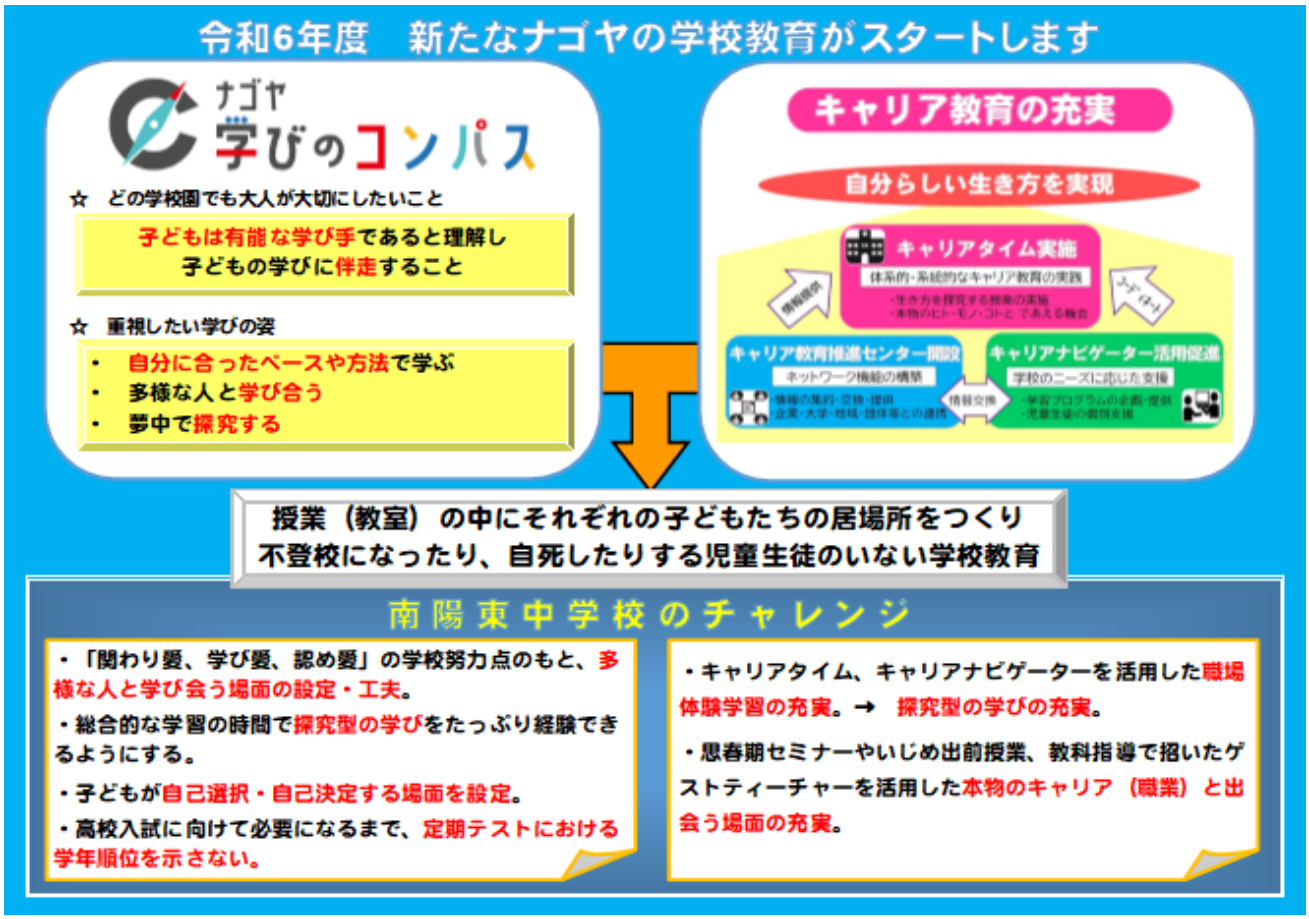


主　題

令和6年度南陽東中学校　努力点

～多様な人との学び愛を通して～

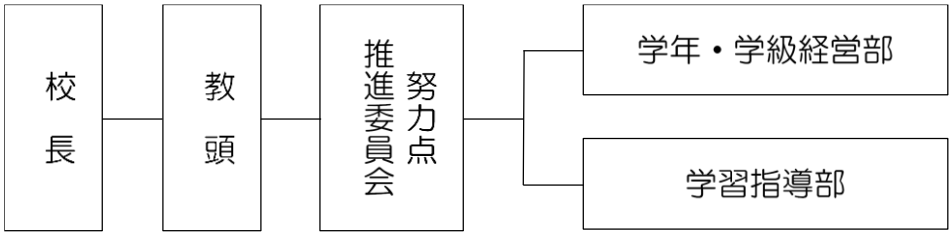
主題設定の理由

昨年度、他者と広く関わりながら学び合う基盤をつくるため、学年・学級経営や学習において、子ども同士の関わり合いの機会をもてるように取り組んできた。今年度は、学習における学び合いの対象を広げ、ゲストティーチャー等の多様な人と学び合う場面の設定・工夫を行っていきたい。

目指す子ども像

自他の存在を尊重し、多様な人と学び合い、認め合うことのできる生徒

研究組織図



部会ごとの手立てについて

＜学年・学級経営部＞	＜学習指導部＞
○　子どもが関わり合う基盤をつくるための学年・学級タイムの設定 ○　キャリアタイム、キャリアナビゲーターを活用した探究型の学びの充実	○　ゲストティーチャー等を活用した多様な人と学び合う場面の設定・工夫 ○　自他の存在を尊重する態度を育てる授業実践

努力点研究推進計画

	学年・学級経営部	学習指導部
一学期	努力点・部会の設定	
	・生徒の実態把握 ・学年・学級タイムの設定計画 ・キャリアタイムの計画・実践	・生徒の実態把握 ・出前授業・授業計画の立案
二学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアタイムの計画・実践 ・計画の振り返り、改善	・授業実践 ・授業の振り返り、改善
	中間まとめ報告	
三学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアタイムの計画・実践	・授業実践
	学校評価アンケートの実施・分析 次年度に向けた努力点設定および推進計画の立案	

努力点推進の具体的な方法

＜学年・学級経営部＞

①　子どもが関わり合う基盤をつくるための学年・学級タイムの設定を計画する。
②　学年・学級タイムに向けて、子どもとともにレクリエーション等を企画する。

①　キャリアナビゲーターとともに職業調べや進路調べ等の探求型の学びを計画する。
②　キャリアタイムを使って実践する。

＜学習指導部＞

①　思春期セミナーやいじめ予防出張授業等の出前授業を計画する。
②　出前授業の中で、それぞれの職業についての話もしてもらうよう依頼する。

①　自他の存在を尊重する態度を育てる授業について計画する。
②　計画を全職員に配付し、可能な職員はできる限り参観するようにする。